

南葵楽堂の記憶 コンサートⅡ プレ・イヴェント

ウィリアム・メレル・ヴォーリズと音楽のかかわりをめぐって

この催しは2009年2月1日に港区の助成により音楽フロンティアみなと 再発見コンサート実行委員会主催で開催される

「麻布飯倉 南葵楽堂の記憶コンサート」に関連した催しです。

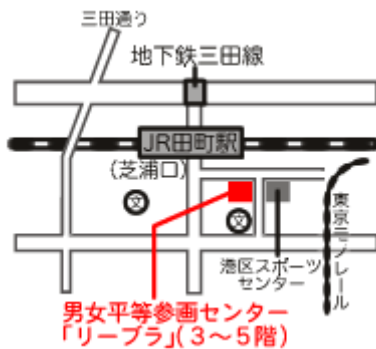
入場無料

ヴォーリズという建築家をご存知ですか？
彼はアメリカに生まれ、建築家を志す青年でした。
しかし、外国伝道を行っていたキリスト教宣教師、Mrs.ハワード・テイラーの講演に感銘を受け、建築家となる夢を一旦あきらめ、宣教師として来日。
医療、教育を始め、様々な社会事業を展開しましたが、建築においても日本の文化・風土を熟知した上、非常に多くの西洋建築物を日本に残しました。
また、日本初のパイプオルガンつき音楽堂「南葵楽堂」の建築も手がけるなど文化事業にも貢献。
その彼が日本で建築事務所をはじめてちょうど100年目になります。
そこで今回、株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所経営管理室長の芹野氏をお招きし、音楽に深い愛着を抱いていた建築家ヴォーリズと音楽や楽器とのかかわり、南葵楽堂(徳川音楽堂)によせた彼の言葉などをご紹介します。
お話の後、来年2月に開催予定のコンサートの紹介も予定しています。
皆様お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

【講師】株式会社一粒社 ヴォーリズ建築事務所 経営管理室長 芹野 与幸氏

【日時】2008年9月13日(土) 10:00-11:30 (9:30開場)

【場所】港区立男女平等参画センター「リーブラ」4F 学習室C



【交通】

JR: 田町駅 芝浦口から徒歩2分

地下鉄 三田線・浅草線: 三田駅 A4出口から徒歩4分

【リーブラ URL】

<http://www.kissport.or.jp/sisetu/libra/index.html>

【申込方法】会場準備の都合上、あらかじめ下記Eメール宛にお申込をお願いいたします。

申込先アドレス: nankigakudo@gmail.com

件名 「9/13申込」 参加者氏名、参加者人数を送信してください。

定員に達し、ご参加いただけない場合のみ、発信アドレス宛にご連絡させていただきます。

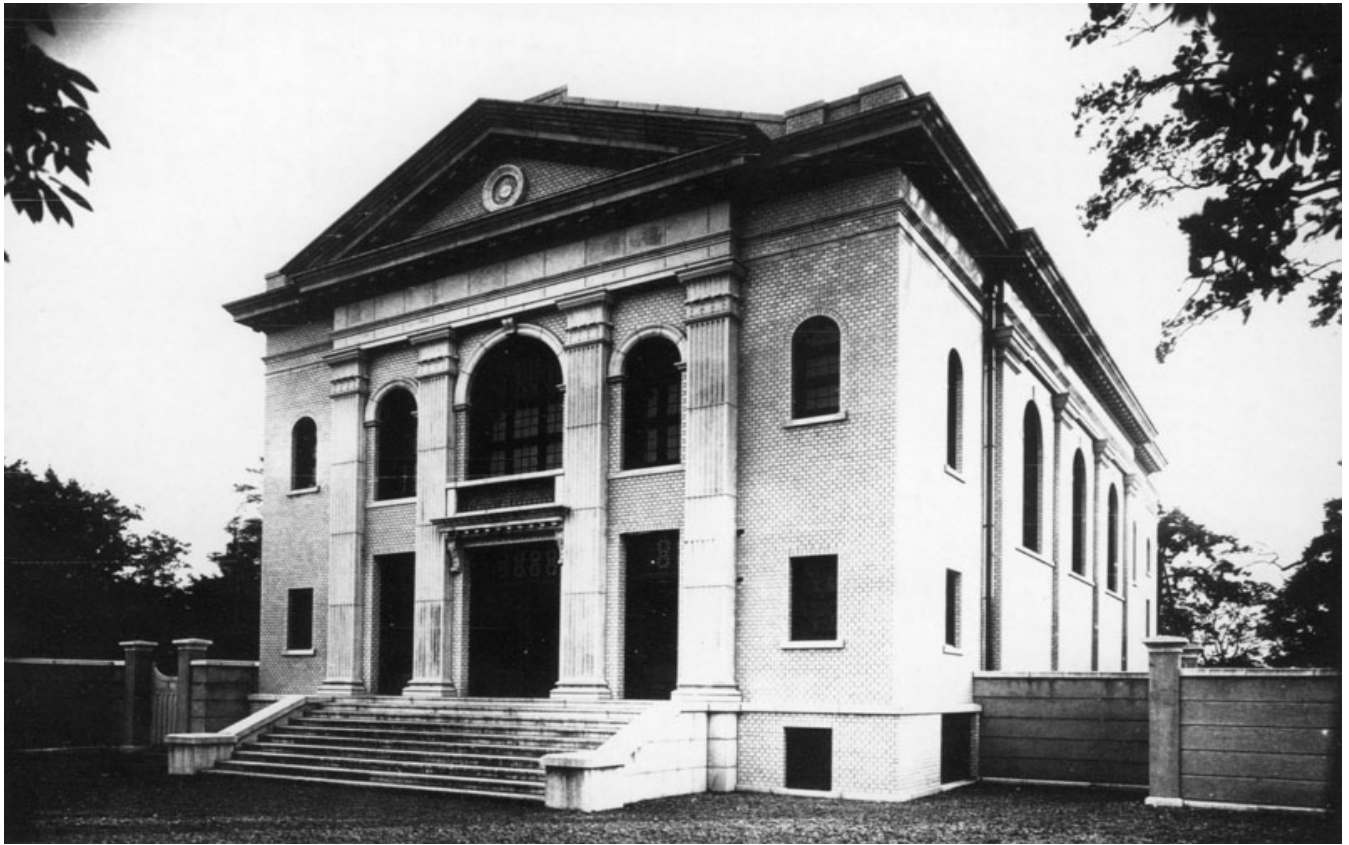
【企画・運営】「麻布飯倉 南葵楽堂の記憶」コンサート サポーター

(2007年度港区+慶應義塾大学アート・センター共催アート・マネジメント講座ワークショップ(上演系)受講者有志)

「麻布飯倉 南葵楽堂の記憶」コンサートを開催する実行委員会の母体は、慶應義塾大学DMC機構です。

また港区のサポーターの方々とともに、ひとりでも多くの方に南葵音楽文庫、南葵楽堂について知っていただくためにさまざまな取り組みを行っています。詳細は、公式ブログをご覧ください。

音楽フロンティア みなと再発見コンサート実行委員会 公式ブログ <http://nankigakudo.blog60.fc2.com/>



南葵楽堂外観



パイプオルガンが設置された南葵楽堂内部

～ 『南葵楽堂はかくして 1918 年(大正 7 年)7 月 30 日に完成した。正面玄関の上には、南葵文庫(南葵とは南の葵ということで、紀州徳川を意味し、南葵文庫は明治三十二年私の父が開いた日本最初の私立公開図書館である)のマークである捻じ葵から考案された酸漿(カタバミ)の紋をつけた。～ 南葵楽堂の大きさは、間口七間、奥行十五間半、天井の高さ二十八尺、建坪はおよそ百坪。350 名を収容できた。

～ ヴォーリス君が建設実行委員長として流暢な日本語で「この楽堂は単なる記念物として建てられたものではなく、精神的な教養を公衆に与えようという高尚な趣旨によって造られたものである。」と述べた。～

～ 南葵楽堂は関東大地震で大きな被害を蒙ったので、私はパイプオルガンを東京音楽学校に寄附した。現在同校演奏室にあるのがそれである。～

『頼貞隨想』より抜粋/昭和 31 年 6 月 10 日発行・徳川頼貞遺稿刊行会 河出書房・非売品

写真:『南葵文庫附属御大礼奉祝記念館大風琴』(発行者名なし、発行年不明)より転載。「御大礼奉祝記念館」とは南葵楽堂の別名。南葵楽堂は、大正天皇の即位の大礼(1915 年)を記念して建てられたため、大正時代には「大礼記念館」とも呼ばれていた。